授業科目	＊初年次セミナーⅠ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	若菜　啓孝、木村　宏和、永原　真奈見、舩越　淳子、天本　理恵						
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなけらばならない。本セミナーは、初年次セミナー1 および 2 で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。 　初年次セミナーⅠでは、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。						
授業形態	講義			授業方法	演習・グループワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。（DP1-1） 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。（DP3-1） 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。（DP3-1） 4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。（DP3-1） 5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。（DP4-1） 6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。（DP4-1） 大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」を身につけることができ、他者と共同し、学ぶ姿勢がみられる。
理想的レベル	大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」を身につけることができ、自らが積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	10%	
レポート	80%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT10201J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）

大学で学ぶためのスタディ・スキルズについて整理し、理解する。その際、オンライン上の教材を閲覧・活用する。	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：大学での学びとは （若菜啓孝、天本理恵） ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは ・『大学で学ぶこと』を理解する ・栄養学科の教育内容等を理解する ・履修登録について
第 2 回	テーマ：4 年間を有意義に過ごすために① （天本理恵、若菜啓孝、船越淳子、永原真奈見） ・栄養学科の教育内容を理解する ・履修登録確認
第 3 回	テーマ：身近なメディアと情報倫理 （若菜啓孝） ・ネットトラブルに巻き込まれないために
第 4 回	テーマ：グループ・ディスカッション （永原真奈見） ・グループ編成 ・グループ・ディスカッション及び発表
第 5 回	テーマ：情報収集方法と図書館 （図書課、若菜啓孝） ・図書館の使い方等のガイダンスを行う
第 6 回	テーマ：ノート・テイキング/リーディング （永原真奈見） ・ノート・テイキングのコツ・要領やリーディングの基礎について説明する
第 7 回	テーマ：レポートの書き方①『レポートとは？』 （船越淳子） ・レポートの種類、レポートと感想文の違い、レポートの構成、引用方法や著作権等の作成上の留意点等について説明する
第 8 回	テーマ：レポートの書き方②『表・グラフを作成する』 （船越淳子） ・レポートの種類、レポートと感想文の違い、レポートの構成、引用方法や著作権等の作成上の留意点等について説明する
第 9 回	テーマ：講義・実験レポートと数値について（国際単位系と単位の変換） （木村宏和） ・国際単位系と量を表す接頭辞を学ぶ。 ・単位の変換について学ぶ
第 10 回	テーマ：講義・実験レポートと数値について（濃度の考え方） （木村宏和）

	・質量パーセント濃度について学ぶ ・モル濃度について学ぶ
第 11 回	テーマ：コミュニケーション基礎実践① （若菜啓孝　他　外部講師） アサーション・マナーについて学ぶ
第 12 回	テーマ：コミュニケーション基礎実践② （若菜啓孝　他　外部講師） アサーション・マナーについてグループで学ぶ
第 13 回	テーマ：4 年間を有意義に過ごすために② （若菜啓孝、天本理恵、永原真奈見） 栄養学科で身につけることのできるキャリア・資格や将来の進路・就職先等について、現状と今後の展望を含め、説明する
第 14 回	テーマ：4 年間を有意義に過ごすために③ （外部講師、永原真奈見） ・栄養士として社会で活躍している卒業生による体験談を聴き、将来像を考える
第 15 回	テーマ：まとめ『大学で学ぶためのスタディ・スキルズ』 （若菜啓孝、永原真奈見） ・初年次セミナーⅠで学んだスタディ・スキルズについて、ポートフォリオにまとめる
テキスト	必要に応じて、資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「大学からのスタディ・スキルズ：知へのステップ(第 4 版)」（くろしお出版） 「大学生・短大生のための大学での学び方」（旺文社） 「大学生からのグループディスカッション入門」（ナカニシヤ出版）
課題に対するフィードバックの方法	レポートの内容については、授業の中で指示する。
学生へのメッセージ・コメント	本科目は、アカデミック・ライティングの技法や、資料収集法、ディスカッションによるアイデアの展開といった演習を中心に進めます。各自主的に学ぶ姿勢と、他人との良好なコミュニケーションを構築しながら、自分の意見を他人に分かりやすく述べる表現力、協調性、積極性等が必要です。 大学では、学生が自ら進んで学業を修める積極的姿勢が必要です。本科目では、スタディ・スキルズの基本を学び、栄養学科で 4 年間学ぶために必要な基本的知識・技術を修得します。高校生までの受け身の姿勢ではなく、自ら学んで多くの知識を修得するために、積極的に取り組みましょう。